

一般社団法人 日本フルードパワー工業会

本 部：〒105-0011 東京都港区芝公園3丁目5-8号 機械振興会館内

TEL. 03 (3433) 5391 FAX. 03 (3434) 3354

西日本支部：〒651-2239 兵庫県神戸市西区櫛谷町松木234番地

川崎重工業(株) 精密機械・ロボットカンパニー 企画本部内

TEL. 078 (991) 1133 FAX. 078 (991) 3186

2021年度(第14回)西日本支部総会開催

2021年度(第14回)西日本支部総会が、11月11日(木)15:30~16:10までの間、兵庫県神戸市の「神戸ポートピアホテル」の「ダイヤモンドの間」で開催されました。

当日は、嶋村西日本支部長及び支部会員の皆様方や本部から安藤会長を初め、副会長、監事、理事の皆様方に加え近畿経済産業局製造産業課長八田明洋課長殿を始めとするご来賓及び関連団体関係者等の皆様方39名の出席の下、以下の議事次第により議事が進行し16:10に無事終了しました。



挨拶をする嶋村西日本支部長

主 要 目 次

ISSN. 1345-2371

第14回西日本支部総会開催	1	今後の主要行事予定	10
2021年度理事懇談会	4		
委員会開催・活動状況			
標準化事業	5		
技術調査事業	6		
PL・その他事業	7		

(一社) 日本フルードパワー工業会

URL: <http://www.jfpa.biz/>

なお、今回は支部総会の前に、川崎重工（株）殿の
アレンジでEディフェンスを訪問する見学会を行いました。

第14回西日本支部総会議事次第

- 1) 開会の辞
- 2) 西日本支部長 挨拶
- 3) ご来賓 紹介
- 4) 会長 挨拶
- 5) ご来賓 祝辞
- 6) 本部報告
- 7) 支部報告
- 8) Web 講演 「パートナーシップ構築宣言」
- 9) 閉会の辞

定刻に支部事務局より支部総会の開催宣言があり、
嶋村支部長より以下の挨拶がありました。

支部総会開催に当たり、一言ご挨拶申し上げます。
本日はお忙しい中、ご参集いただきまして、誠に
ありがとうございます。またここに、参加いただ
いている方々だけでなく、5社7名の方がWEB
で参加
いただいているとのことで、大変多くの方々にご
参加いただきまして、ありがとうございます。西日本
支部総会では、会の前に、工場見学会をすることが
恒例となっております。いつからそうなったかは定
かではありませんが、次はどこに行こうかと、幹事
となる会社は、頭を悩ませております。本年は三木
市にありますEディフェンスという施設を見学して
まいりました。ここは、日本最大の振動破壊試験装
置を持って様々な研究をされている施設で、試験装
置に大きなパワーが必要ということで巨大な油圧装
置ともものすごい数のアキュムレータを使っており
ます。これは、縦揺れでは1.5Gの加速度を出せる
という巨大なもので、阪神淡路大地震の時の最大が
1Gで、1Gというと無重力状態でダンスでもベッ
ドでも浮いてしまうという大きさです。今年、東
日本大震災から、10年ということもありまして、こ
の施設を見学させていただこうと思った次第です。
このように、地震に対して構造物を改良していくと
いう社会課題に向けて、フルードパワーが貢献でき
た一つの例になるのかと思って見学を設定した訳で
す。
さて、色々な社会課題が出てきますが、最近ですと
コロナ禍というものがあります。それ以上に、最近
言われているのは地球温暖化を止めよう、脱炭素社
会に向けて何をするのかという課題が出てきており、

社会全体が大きく舵を切っているところだと思いま
す。こういった社会課題に立ち向かおうとしますと、
一社一社でやっていくとやはり大変で、色々な技術
を結集して行かないと、スピード感を持って解決し
ていけないと普段の業務を通じて強く感じていると
ころであります。ただ、この西日本支部活動では、
そこまで大上段に構えることなく、まずは気楽に集
まって色々なお話ができる場を提供できればいいか
なと感じております。そういうつもりで、昨年、今
年も、この総会に続いて、理事懇談会、懇親会そし
て、予定の合う方はゴルフも次の日にさせていただ
くというフルスペックで開催させていただいておりま
す。このコロナ禍の中で、昨年に引き続き、フルス
ペックの会が開けたということは、我々運がいいな
と大変うれしく思っております。この場が楽しく会
員の交流できる場になって、それが将来社会課題の
解決に向けてのパワーになることを祈念しておりま
す。そして最後になりますが、この会員各社様皆様
のご健勝をご祈念いたしまして、私の挨拶とさせて
いただきます。ありがとうございました。

その後、事務局から来賓の紹介があり、安藤会長
より以下の挨拶がありました。



挨拶をする安藤会長

皆様こんにちは。只今ご紹介賜りました会長の安
藤でございます。西日本支部総会にあたりまして一
言ご挨拶申し上げます。

昨年も、この場でご挨拶させていただきましたが、
この1年、コロナ禍に加えて国内外では、多くの
でき事がございました。アメリカの大統領選挙での
バイデン氏の勝利、ミャンマーのクーデター、中国化
が進む香港やウイグル人権問題、米軍のアフガン
撤退による混乱、わが国では、東京2020オリンピ
ック・パラリンピックの開催、デジタル庁の創設、
菅政権から岸田政権への移行などがありました。こ
の他にも、欧州を先頭にした脱炭素社会に向かっ
ての動きの加速や「デジタル・トランスフォーメーシ

ョンの社会実装に向かった動きなどがありました。我々工業会といたしましては、多くの変化に柔軟に対応できる力をより一層強く蓄えておくことが求められております。その為には、広く深い情報を早く得ることが必要でありまして、工業会としてもその点を踏まえた活動を行っていきたくと考えております。特に、無人化・省人化に向けた「デジタル」の取り組みの重要性が増しています。AIを活用した工場の無人化稼働や遠隔監視の導入などのデジタル・トランスフォーメーションの推進は、生産性の向上や競争力強化に資するのみならず、効率的なデータ収集や有事の際の企業間・工場間の連携を通じたレジリエンス強化といった観点からも、大変重要な取り組みと考えており、工業会としては、今回新たに、IoT 推進部会を新規に発足させて、これら課題に取り組んでいく所存です、

さて、工業会の数字を見てみますと、前年度の新型コロナウイルス感染拡大影響による需要減から大きく回復し、今年1月から7月までの油圧機器の出荷額は、対前年比19.1%増の2323億円、4月から7月は対前年比31.6%の1338億円と大幅に増加しております。金属一次や船舶等、一部減少している需要部門がございますが、昨年度全世界的なコロナ禍の中で、貿易が縮小したことによる大幅減の反動もあり、大きな比重を持つ土木建設機械向け、単体輸出が大きく改善しました。また、空気圧は、1月から7月までの累計で対前年比30.3%増の3184億円、4月から7月では対前年比40.6%増の1956億円となっております。全ての需要部門が堅調に推移する中、前年に続き輸出の好調が出荷額を押し上げ大幅な増加となりました。このように、7月までの工業会数値では回復を示しておりますが、政府がまとめました直近10月の月例経済報告では、足元の景気について依然として厳しい業況にある中、持ち直しの動きが続いているものの、そのテンポは弱まっているとして、前月の基調判断を維持しております。皆さんも多分お困りだと思いますが、半導体の不足やコロナによる部品のグローバルサプライチェーンの供給制約による減産、加えて、中国の景況感悪化や原油、原材料の高騰などの下ぶれリスクから、回復の動きが弱まっていると判断したようでございます。緊急事態宣言解除に伴い、外食の支出に動きがあるようですが、まだ個人消費の押上にはまだ至っておらず、十分に注意する必要がありますと内閣府では見ており予断を許さない状況は続いているようです。

このような景況の中、緊急事態宣言解除後間もない

10月6日から3日間、4年ぶりにIFPEX2021を開催させていただきました。コロナ禍ということで、海外からの出展もなく出展社数が前回より約4割減り、来所者数も3日間合計約2万人規模となりましたが、「予想よりは来場者が多かった。」「やはりリアルの展示会は色々な方に会えるので良い」という声も多く、これも皆様方の努力の賜物として感謝する次第です。ありがとうございました。

最後になりますが、西日本支部の方々にはこのような場を作ってください感謝する次第です。西日本支部のこれからの御発展とここに御来席の御来賓、また会員各社様のご発展ご健勝を祈念いたしまして私の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

次に来賓を代表して近畿経済産業局製造産業課長八田明洋課長殿よりご挨拶をいただきました。



ご挨拶をされる八田明洋課長

つづいて、本部報告を行った後に支部報告・支部会計報告及び決算報告（案）について審議を求め了承されました。

最後に、中小企業庁事業環境部企画課調査員 柳達也氏から、取引価格の適正化やサプライチェーン全体での競争力強化、オープンイノベーションの推進などに向けた大企業と中小企業による新たな共存共栄関係の構築を目的に、（1）サプライチェーン全体の共存共栄と新たな連携（企業間連携、IT実装支援等）（2）「振興基準」の遵守、特に、取引適正化の重点5分野（①価格決定方法、②型管理の適正化、③現金払の原則の徹底、④知財・ノウハウの保護、⑤働き方改革に伴うしわ寄せ防止）について、重点的に取り組むことを個社単位で代表権のある者の名前で宣言するパートナーシップ構築宣言について、Webを活用して説明がありました。



中小企業庁 講演風景

以上議事が進み、定刻に無事終了いたしました。

2021 年度理事懇談会

支部総会終了後 16:10 から同じ会場で 2021 年度理事懇談会を開催しました。理事懇談会には、西日本支部総会に出席された支部会員の皆様もオブザーバーとして参加されました。今回は、審議事項がなく報告事項のみのため、出席定数の制限がかからない WEB を活用した理事懇談会となりました。

支部総会終了後 16:10 から同じ会場で 2021 年度理事懇談会を開催しました。理事懇談会には、西日本支部総会に出席された支部会員の皆様もオブザーバーとして参加されました。今回は、審議事項がなく報告事項のみのため、出席定数の制限がかからない WEB を活用した理事懇談会とし、理事 17 名、及び監事 2 名が参加されました。安藤議長が、2021 年理事懇談会の開会を宣した後、来賓として ZOOM によるご出席の経済産業省製造産業局産業機械課の安田課長から、ご挨拶がありました。その後、議事に入り、以下の議案が報告されました。

第 1 号議案 2021 年・年度油圧空気圧機器需要見直し見直しについて、11 月に当会の総需要委員会及び油圧分科会並びに空気圧分科会を開催し、今般「2021 年・年度の需要見直し」の見直しを実施したことを報告しました。概要以下の通りです。

・油圧機器出荷額予測

歴年ベース出荷額

2021 年 出荷額（見直し） 3,580 億円
（対前年比 6.2%増）→4,026 億円（対前年比 19.4%増）

年度ベース出荷額

2021 年度 出荷額（見直し） 3,638 億円
（対前年度比 6.3%増）→4,124 億円（対前年度比 20.5%増）

・空気圧機器出荷予測

歴年ベース出荷額

2021 年 出荷額（見直し） 4,565 億円
（対前年比 10.8%増）→5,347 億円（対前年比 29.8%増）

年度ベース出荷額

2021 年度 出荷額（見直し） 4,669 億円
（対前年度比 8.7%増）→5,482 億円（対前年度比 27.7%増）

第 2 号議案として、2022 年年始会開催について説明がされました。

2022 年 1 月 12 日（水）の年始会は、東京プリンスホテル・プロビデンスホールにて、懇談スペースと食事スペースを分けた形での新立食による開催を予定している。現時点での出席人数は、最大 200 名を予定している。

第 3 号議案 IFPEX2021 結果報告について

2021 年 10 月 6 日から 8 日にかけて、東京ビッグサイト南館において IFPEX2021 が開催された。出展規模は前回の 133 社から 95 社に減り、台湾等の海外からの出展もなかったが、久々のリアルな展示会ということで大変好評であった。来場者数は 2 万人弱。

講演やセミナーも実施され、どこも盛況であった。との報告が事務局からされました。

その後、16:50 より「エメラルドの間」で、支部会員及び学会等の関係機関の方々とお出席理事を交えた合同懇親会を開催しました。はじめに嶋村西日本支部長が開会の挨拶と乾杯を行い、参加者一同懇親を深めました。その後、和気あいあいのうちに散会しました。



合同懇親会 嶋村支部長挨拶

なお、翌日行われた「2021 年度西日本支部懇親ゴルフ会」は、17 名の参加者を得て、六甲国際ゴルフ倶楽部で開催され、KYB 村上関西支店長殿が素晴らしい成績で優勝されました。

標準化事業

空気圧信頼性分科会

日 時 11月2日(火)、13:30~16:00
場 所 機械振興会館 JFPA 会議室+リモート
出席者 妹尾主査以下7名(うちリモート:7)
事務局 前畑
議 事

前回議事録の確認後、ISO 国際会議について情報共有した。また、9/29: TC131/WG4 国際会議の報告があった。日本提案のプレゼンを行い、来年2月に審議を行う予定とのこと。

次いで、JIS_B8672-1(空気圧一試験による機器の信頼性評価一第1部:通則)の改正について審議した。前回に引き続き、対応国際規格(ISO_19973-1)原文と比較しながら原案修正作業を実施した。
次回開催:1月25日、機械振興会館+リモート

油空圧継手・ホース分科会

日 時 11月9日(火)、13:30~16:00
場 所 機械振興会館 JFPA 会議室+リモート
出席者 岩崎主査以下6名(うちリモート:6)
事務局 前畑
議 事

前回議事録の確認後、ISO 投票案件について、既に投票済み案件の報告があり、ISO/FDIS_12151-3: FDIS 投票→Approval、で投票したとのこと。また、新規投票案件について審議し、ISO/SR_12151-1: 定期見直し投票、ISO/DIS_16028: DIS 投票、ISO/DIS_12151-2: DIS 投票、ISO/SR_1179-3: 定期見直し投票、ISO/SR_9974-4: 定期見直し投票、について各委員で検討し意見を収集することとした。

次いで、ISO 国際会議について情報共有した。また、10月開催の ISO/TC131/SC4/WGs 国際会議(10/6: WG6, 10/19: WG1&2, 10/22: SC4)について、報告があった。

次いで、JIS_B2355-2(油圧・空気圧用及び一般用途用金属製管継手-Oリングシールによるメートルねじポート及び継手端部一第2部: 高压用(Sシリーズ)継手端部一寸法・設計・試験方法・要求事項)の改正について討議した。対応国際規格(ISO_6149-2)と比較しながら修正作業を行った。
次回開催:2月15日、機械振興会館+リモート

油圧フィルタ・作動油分科会

日 時 11月11日(木) 13:30~16:00
場 所 機械振興会館 JFPA 会議室+リモート
出席者 難波主査以下3名(うちリモート:3)
事務局 前畑
議 事

前回議事録の確認後、ISO 投票案件について、投票済み案件の報告があり、ISO/DIS_4405: DIS 投票→承認、ISO/DIS_11171: DIS 投票→承認、ISO/DTR_6057: DIS 投票→承認、で投票したとのこと。

また、新規投票案件について審議し、ISO/FDIS_16889: FDIS 投票→承認、ISO/SR_12829: 定期見直し投票→確認、で投票することとした。

次いで、ISO 国際会議について情報共有した。また、10月開催の ISO/TC131/SC6/WGs 国際会議(10/20: WG1, 10/21: WG2, 10/22: SC6)について、報告があった。

次いで、JIS_B9933(油圧一作動油一固体微粒子に関する汚染度のコード表示)の改正について、対応国際規格(ISO_4406:2021)の改訂内容を確認し進め方を討議した。

次いで、ISO_18413(Hydraulic fluid power - Cleanliness of components - Inspection document and principles related to contaminant extraction and analysis, and data reporting)のJIS制定について、原案作成作業を行った。

次回開催:2月3日、機械振興会館+リモート

油圧ポンプ・モータ分科会

日 時 11月16日(火)、13:30~16:00
場 所 機械振興会館 JFPA 会議室+リモート
出席者 加藤主査以下12名(うちリモート:12)
事務局 前畑
議 事

前回議事録の確認後、ISO 国際会議について情報共有した。また、10/11開催の ISO/TC131/SC8/WG13 国際会議について報告があった。

次いで、JIS 改正候補案件について、JIS_B9939-1(油圧一測定技術一第1部: 一般測定原則)及びJIS_B9939-2(油圧一測定技術一第2部: 管路における平均定常圧力の測定)の改正の進め方を討議した。各委員で対応国際規格の改訂箇所を確認し、改正必要可否を検討することとした。

次回開催:3月15日、機械振興会館+リモート

空気圧流量測定分科会

日 時 11月18日(木)、13:30~16:00
場 所 機械振興会館 JFPA 会議室+リモート
出席者 妹尾主査以下8名(うちリモート:8)
事務局 前畑
議 事

前回議事録の確認後、ISO 投票案件について、既に投票済み案件の報告があり、ISO/SR_6358-1: 定期見直し投票→Revise/Amend、で投票したとのこと。

次いで、ISO 国際会議について情報共有した。また、10/5 開催の ISO/TC131/SC9/WG2 国際会議の報告があった。

次いで、JIS_B8390-1 (空気圧-圧縮性流体用機器の流量特性試験方法-第1部: 通則及び定常流れ試験方法) の改正について討議した。対応国際規格 (ISO_6358-1) と比較しながら修正作業を行った。
次回開催: 2月17日、機械振興会館+リモート

空気圧バルブ分科会

日 時 11月24日(水)、13:30~16:00
場 所 機械振興会館 JFPA 会議室+リモート
出席者 石毛主査以下7名(うちリモート:7)
事務局 前畑
議 事

前回議事録の確認後、ISO 投票案件について、既に投票済み案件の報告があり、ISO/SR_10041-1: 定期見直し投票→継続 (Confirm)、ISO/SR_10041-2: 定期見直し投票→継続 (Confirm)、で投票したとのこと。

次いで、ISO 国際会議について情報共有した。

次いで、JIS_B8672-2 (空気圧-試験による機器の信頼性評価-第2部: 方向制御弁) の改正について対応国際規格 (ISO_19973-2) と比較しながら修正作業を行った。
次回開催: 1月18日、機械振興会館+リモート

空気圧調質機器分科会

日 時 11月25日(木)、13:30~16:00
場 所 機械振興会館 JFPA 会議室+リモート
出席者 土岐主査以下5名(うちリモート:5)
事務局 前畑
議 事

前回議事録の確認後、ISO 投票案件について、既に投票済み案件の報告があり、ISO/CD_6953-1.4: C D投票→賛成、ISO/CD_6953-2.3: C D投票→賛成、で投票したとのこと。

次いで、ISO 国際会議について情報共有した。

次いで、11/30 開催予定の ISO/TC131/SC5/WG5 国際会議 (ウェブ会議) のアジェンダについて情報共有した。本会議において、ISO_20145 (サイレンサ規格) に関して日本提案のプレゼンを行うとのこと。

次いで、JIS_B8672-4 (空気圧-試験による機器の信頼性評価-第4部: 減圧弁) 改正について審議した。対応国際規格 (ISO_19973-4) の原文と比較しながら原案修正作業を実施した。

次回開催: 1月20日、機械振興会館+リモート

* ISO の動き

- 2022年1月末までの開催予定の国際会議はコロナウイルスの影響で対面会議は中止とし、ウェブ会議での開催の指示が出ている。
- 2022年の ISO/TC131 国際会議は、春季 (5月): アメリカ・アトランタ、秋季 (10月): 日本・姫路、で計画されている。

~~~~~

#### 技術調査事業

~~~~~

空気圧部会・第584回特許分科会

日 時 11月5日 (金) 13:30 ~ 14:40
場 所 Web 会議
出席者 井野幹事以下4名
事務局 吉田
議 事

はじめに前回議事録及び配付資料の確認を行った。公報の検討と無効理由調査について3件について引き続き調査を行うこととした。

細田委員から瀧委員に委員の交代があった。

次回開催: 12月3日(金) Web 会議

水圧部会 (IFPEX2021 出展者会議)

日 時 11月16日(火)、10:00~11:00
場 所 リモート
出席者 8名
事務局 前畑・大橋

IFPEX2021 における水圧コーナー出展社による展示結果の確認・総括を行った。

まず、印刷物の進捗状況について報告があった。

次いで、各社の見学者のアンケート結果の報告がなされた。合計で延べ260社の見学があり、22社からの興味深いアンケート結果が得られたとのこと。

最後に、出展社各社から感想を述べ、終了とした。

次回開催: 別途日程調整

~~~~~  
PL・その他事業  
~~~~~

2021年度 第2回目 基礎講座(初級)

2021年度第2回目の油圧, 空気圧基礎講座(座学, 製品実習)を6月に続き実施した。参加者は総勢57名が参加した。

以下に油圧と空気圧における基礎講座の実施状況を示す。

油圧基礎講座(初級)

出席者 参加企業 18社 42名

【座学】

日時 2021年11月15日(月) 13:00~16:30

場所 Web接続のみ(Micro Soft Teams)

講師 油研工業(株) 日野様

事務局 大熊

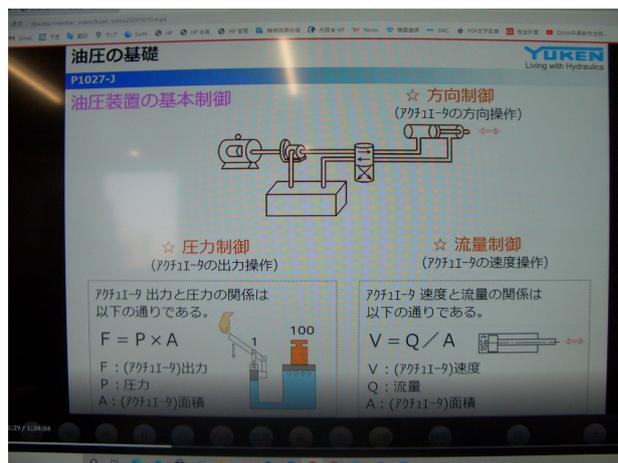
Micro Soft Teamsにて、日野様より以下の項目について説明を行った。

① 油圧の基礎

- ・油圧とは ・パスカルの原理 ・油圧装置の作動原理と基本制御、など

② 代表的な油圧機器の作動原理と活用法

- ・方向制御弁 (電磁切換弁、電磁パイロット切換弁、チェック弁、パイロット操作チェック弁)
- ・圧力制御弁 (リリーフ弁、減圧弁、カウンタバランス弁、シーケンス弁)
- ・流量制御弁 (絞り弁、流量調整弁)
- ・油圧ポンプ (ギヤ、ペーン、ピストン)
- ・油圧アクチュエータ (油圧シリンダ、他)



『油圧の基礎』説明画面



『方向制御弁』説明画面

【製品実習】

日時 2021年11月16日(金) 13:30~16:30

場所 川崎重工業(株) 精密機械・ロボット

カンパニー 研修センター(西神戸工場内)

講師 川崎重工業(株) 有田様

事務局 大熊

製品内部の構造を確認しながら、分解及び組み立てを行った。対象製品は以下の通り。

- ・斜板ポンプ
- ・ギヤポンプ
- ・油圧電磁弁
- ・油圧シリンダ

特に斜板ポンプについては製品の構造上はめ合いの精度が高く、組立の段階で苦労している人が多く、製品精度の高さを実感できたと思われる。また各製品の組立ての段階で、Oリングシールを傷つけやすく製品修理の際の注意すべきポイントを学べたと思う。



Micro Soft Teamsによる実施状況

後日、油圧基礎講座への説明内容についてアンケート調査を行い、80%以上理解できたとの回答が、参加者全体の70%以上であった。



製品実習の事前説明

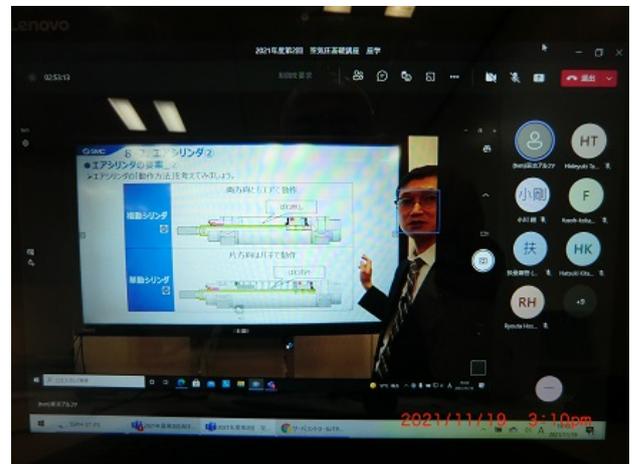
講師 SMC(株) 市瀬 様
事務局 大熊

Micro Soft Teams にて、市瀬様より以下の項目について説明を行った。

- ・空気圧とは
- ・空気圧システムの基本構成
- ・圧縮空気について
- ・圧縮空気清浄化機器
- ・配管と接続
- ・管接手
- ・空気圧調整ユニット
- ・アクチュエータ
- ・速度制御弁
- ・方向制御弁



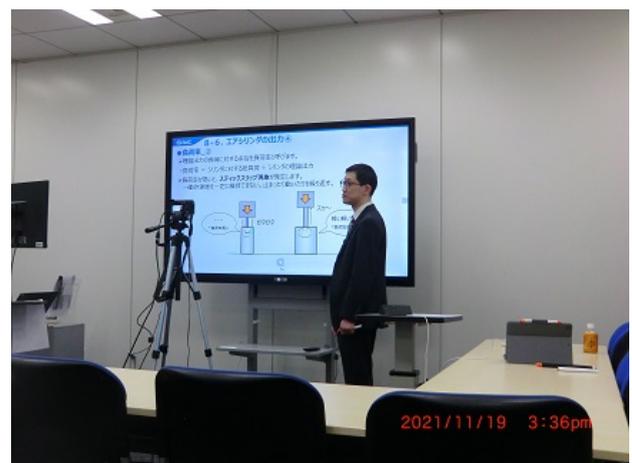
説明スタッフの紹介



Micro Soft Teams による実施状況



斜板ポンプ分解状況



実際の説明状況

空気圧基礎講座(初級)

出席者 参加企業 8 社 15 名

【座学】

日時 2021 年 11 月 19 日(金) 13:00~16:30

場所 Web 接続のみ(Micro Soft Teams)

後日、空気基礎講座への説明内容についてアンケート調査を行い、80%以上理解できたとの回答が、参加者全体の 70%以上であった。

【製品実習】

日時 2021年11月25日(木) 13:00~16:20

場所 機械振興会館 B3-2 会議室

講師 日本フルードパワー工業会 大熊

事務局 大熊

空気圧トレーニングキットを使用し、指定された空気圧回路において、各空気圧機器にどのような現象が発生するかを、参加者全員が体験した。各項目は以下の通り。

- ・残圧排気弁
- ・シリンダの速度制御
- ・シリンダのエアクッション
- ・サイレンサの消音効果
- ・2位置シングル・ダブルソレノイド
- ・クローズドセンタ
中間停止・残圧排気・再起動
- ・エキゾーストセンタ
中間停止・飛出し防止・停止制度
- ・プレッシャセンタ
両加圧回路・非常停止と再起動・
残圧排気



製品実習実施状況 1



製品実習実施状況 2



製品実習実施状況 3

製品実習開始時、参加者は空気圧回路図を読むことができなかったが、各製品の役割と使用方法を理解する中、製品実習終了時には全員が空気圧回路を読めるようになった。

また、製品を手に取り自分自身で回路を作り作動させることにより、短期間で空気圧回路を理解することができていた。

PL 保険セミナー

令和4年 団体総合保険制度への新規加入・継続加入をご案内中。「令和4年 団体総合保険制度(国内 CGL・国内 PL・海外 PL)」への新規加入・継続加入のご案内を兼ね下記の通り PL 保険セミナーを開催しました。当会の PL 団体保険制度は、早くから国際化の進展を睨んで、輸出拡大や海外への事業進出展開を踏まえ、低廉な保険料率で諸々のリスクに対応でき加入者に大きなメリットがある保険制度をめざし運営してきております。具体的内容につきましては、本保険制度の取扱ブローカーであるワールドインシュアランスブローカーズ(株)の関係者をご訪問し、各社のご事情を勘案して、お見積等をさせていただきます。

日時 2021年11月8日(月) 13:30~15:00

場所 Teams による接続のみ

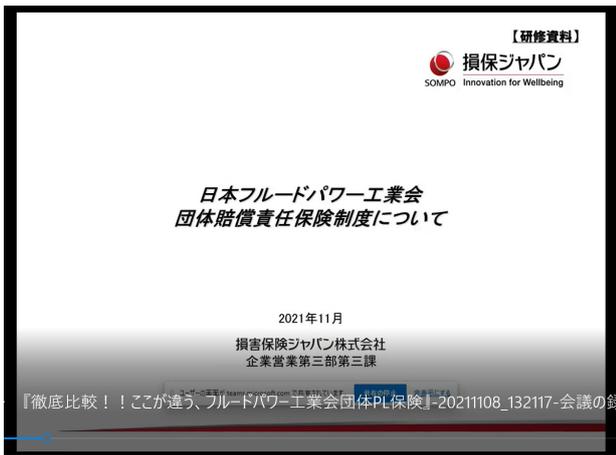
出席者 会員企業6社7名

セミナー名 『徹底比較!!ここが違う、フルードパワー工業会団体 PL 保険』

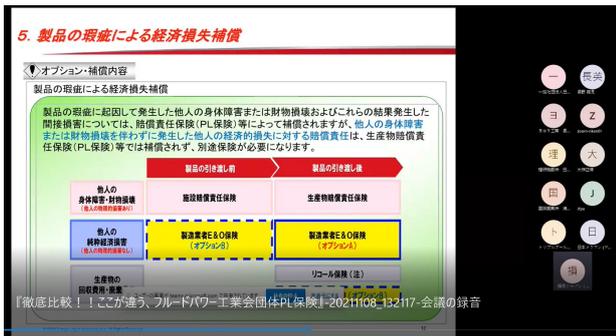
講師 ・損保ジャパン(株) 企業営業第三部第三課
水野 知紀 様

・ワールドインシュアランスエージェンシー
梅元様

事務局 大熊



プレゼン資料①



プレゼン資料②

保険のことについては、大体判っていると思いますが細かい点については、よく理解されていないのが現状だと思います。そのため、普段理解されてない今回細かい部分について説明を行いました。なお、このセミナーについては録画されており、JFPA ホームページの会員サイトにて視聴可能です。

~~~~~  
 今後の主要行事予定  
 ~~~~~

- ☆12月22日(水) 第34回政策委員会
- ※2022年
- ☆1月12日(水) 第92回理事会
2022年年始会
- ☆3月25日(金) 第35回政策委員会
- ☆4月22日(金) 第93回理事会・懇親会
- ☆5月19日(木) 第23回定時総会・懇親会
- ☆5月20日(金) 第60回JFPA 懇親ゴルフ会

~~~~~  
 11月に開催された当会各委員会に出席された皆様は以下の通りです。(敬称略)  
 ~~~~~

- (標準化事業)
 空気圧信頼性分科会
 開催日 11月2日(火)
 出席者
 主査 妹尾満 (SMC)
 委員 川端啓之 (アズビルTACO)
 // 吉田重和 (CKD)
 // 中古弘 (TAIYO)
 // 中曽根祐司 (東京理科大学)
 // 眞田一志 (横浜国立大学)
 特別委員 伊藤輝 (日本規格協会)

- 油空圧継手・ホース分科会
 開催日 11月9日(火)
 出席者
 主査 岩崎宏文 (イハラサイエンス)
 委員 小山修平 (ニッタ)
 // 辻田智 (日東工器)
 // 石井克昌 (横浜ゴム)
 // 小島研二 (日本ホース金具工業会)
 // 横岡慎吾 (ブリヂストン)

- 油圧フィルタ・作動油分科会
 開催日 11月11日(木)
 出席者
 主査 難波竹己 (日本ポール)
 委員 菊地大輔 (東京計器)
 // 三好真介 (MORESCO)

- 油圧ポンプ・モータ分科会
 開催日 11月16日(火)
 出席者
 主査 加藤弘毅 (KYB)
 委員 黒川道夫 (イートン)
 // 吉村勇 (川崎重工業)
 // 金谷顕一 (島津製作所)
 // 庄司忠史 (ダイキン工業)
 // 辻井喜勝 (タカコ)
 // 賀集賢太郎 (東京計器)
 // 三浦恵史 (豊興工業)
 // 鈴木健吾 (不二越)
 // 寺澤達士 (油研工業)
 // 宮田拓也 (小松製作所)
 // 高橋正和 (日立建機)

空気圧流量測定分科会

開催日 11月18日(木) // 神田健一(丸山製作所)
 出席者 // 中村勇氣(中外テクノス)
 主査 妹尾満(SMC) // 三井久人(伊東産業/サンパワー)
 委員 川端啓之(アズビルTACO)
 // 森本光一(コガネイ)
 // 大竹崇(CKD)
 // 水上秀彦(TAIYO)
 // 浅里信之(ニッタ)
 // 高沢清継(日本ピスコ)
 // 眞田一志(横浜国立大学)

(PL対策事業)
 PL保険セミナー
 日時 11月8日(月)

【会社名のみ】

参加企業 ヨコタ工業
 // 理研機器
 // 国際興業
 // トリプルアール
 // 日本メクマン
 // 損保ジャパン
 // ワールド・インシュアランス・エージェンシー

空気圧バルブ分科会

開催日 11月24日(水)
 出席者
 主査 石毛浩二(TAIYO)
 委員 山崎慎也(SMC)
 // 保坂周一(コガネイ)
 // 夏目清辰(CKD)
 // 八手又秀浩(日本ピスコ)
 // 鈴木一成(妙徳)
 特別委員 伊藤輝(日本規格協会)

(その他事業)

油圧基礎講座(初級)座学・製品実習
 開催日(座学) 11月15日(月)
 講師 日野武彦(油研工業)
 開催日(製品実習)11月16日(火)
 講師 原田隆史(川崎重工業)

【会社名のみ】

参加企業 ASK (正会員)
 // 日本ムグ (正会員)
 // 堀内機械 (正会員)
 // 甲南電機 (正会員)
 // 神威産業 (正会員)
 // 東京計器 (正会員)
 // 三尾製作所(正会員)
 // イハライェンス (正会員)
 // KYB (正会員)
 // 南武 (正会員)
 // 三明電機 (賛助会員)
 // KYB-YS (賛助会員)
 // 扶桑チューブ・パーツ(賛助会員)
 // 日本伸銅 (賛助会員)
 // 北井産業 (一般)
 // イーグル工業 (一般)
 // キッツ (一般)

空気圧調質機器分科会

開催日 11月25日(木)
 出席者
 主査 土岐真人(コガネイ)
 委員 檜垣匡光(SMC)
 // 國崎雄嗣(CKD)
 // 宮本秀樹(TAIYO)
 特別委員 伊藤輝(日本規格協会)

(技術調査事業)

空気圧部会・第584回特許分科会

開催日 11月5日(金)
 幹事 井野雅康(SMC)
 委員 今野英俊(コガネイ)
 // 細田一也(CKD)
 // 瀧 芳久(CKD)

水圧部会

開催日 11月16日(火)
 出席者
 委員 柿木宗久(タイヨーインターナショナル)
 // 内田晃(日本アキュムレータ)
 // 井口務(廣瀬バルブ工業)
 // 田邊康伸(廣瀬バルブ工業)
 // 細井耕平(堀内機械)

空気圧基礎講座(初級)座学・製品実習

開催日(座学) 11月19日(金)
 講師 市瀬恒太(SMC)
 開催日(製品実習)11月25日(木)
 講師 大熊正博(日本フルド・パワー工業会)

【会社名のみ】

参加企業 ASK (正会員)
// 日本ムグ (正会員)
// 阪上製作所(正会員)
// アズビルTACO(正会員)
// フクハラ (賛助会員)
// 扶桑チューブパーツ(賛助会員)
// 福井製作所(一般)
// 北井産業 (一般)
// 東工・バックス(一般)

~~~~~

月間行事概要

~~~~~

☆経済産業省ホームページ

経済産業省のHPでは①政策②申請・届出③統計④政策提言⑤情報公開のリンク等から必要な情報が得られます。

<http://www.meti.go.jp/>

☆中小企業庁ホームページ

中小企業庁HPでも中小企業向け施策に関する多くの情報が得られます。

<http://www.chusho.meti.go.jp/>

<11月>

2日(火)

・標準化(委)空気圧信頼性分科会

5日(金)

・技術委員会空気圧部会第584回特許分科会

8日(月)

・PL保険セミナー

9日(火)

・標準化(委)油空圧継手ホース分科会

11日(木)

・標準化(委)油圧フィルタ・作動油分科会

15日(月)

・油圧基礎講座 座学

16日(火)

・技術(委)水圧部会

・標準化(委)油圧ポンプ・モータ分科会

・油圧基礎講座 製品実習

18日(木)

・標準化(委)空気圧流量測定分科会

19日(金)

・空気圧基礎講座 座学

24日(水)

・標準化(委)空気圧バルブ分科会

25日(木)

・標準化(委)空気圧調質機器分科会

・空気圧基礎講座 製品実習